

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 20日 更新

事務事業名		全国基地協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	岩田 建一
	施策	18	住環境の充実			所属課	総務課	担当者名	安武 恭一
	施策の柱	56	環境衛生の充実			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1227
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 10148	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	基地協議会は、全国関係自治体連携により国の基地対策事業に関し、他地域の取り組み、国の動向等の情報収集ほか、交付金の確実なる確保、税収の欠陥是正、都市計画上の障害に対する補償を得るための活動を展開しており、加盟する事での確実な情報収集と要望や予算対策等の意見交換の場を確保する。 自衛隊基地等がある市町村は加盟している。1都+159市+72町村=232都市町村(平成30年度)
【業務の流れ】	負担金の支出及び会議への参加。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	特に聞いていない

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	全国基地協議会へ負担金の支出を行った。	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 負担金の支出(熊本地震により免除)及び会議への参加
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 会議の開催回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
協議会加盟団体		→ ア: 加盟団体数 団体
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
情報の共有化が図られ、要望等の提出が出来る。		→ ア: 要望した回数 回
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
歳入の確保充実など本市行政運営に大きく関わってくる意味でも、要望等の提出が必要である。 年1回の要望を取りまとめている。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	1
	イ									
	ア	団体	233	233	232	232	232	232	232	232
② 対象指標	イ									
	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	1
③ 成果指標	イ									
	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	1
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円		1	2	1	2	2	2
		(A) 事業費計	千円	0	1	2	1	2	2	2
		(A)のうち指定経費	千円	0	1	2	1	2	2	2
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1
人件費	延べ業務時間	時間	6	6	0	10	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	0	23	0	39	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	24	2	40	2	2	2	

事務事業名	全国基地協議会参画事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 的確な情報収集、要望を提出する事で目標を達成する見込み。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 要望書を提出しているため、向上余地なし。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に関係機関がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の負担額である。 負担基準：均等割1千円+前年基地交付金と調整交付金合算額から100千円控除額の0.26/1000 1千円未満の端数は切り捨て
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の従事時間である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 この事業に関する受益者はいない
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 基地周辺自治体として情報を共有し、国に対して要望等を行うことは市の責務である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

国の基地対策事業に関し、情報収集をはじめ、交付金の確保、税収の欠陥是正、都市計画上の障害に対する補償を得るための活動展開の機会であり、歳入の確保充実など本市行政運営に大きく関わってくる意味でも、全国の市町村連携による活動展開は重要・不可欠。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						